町民の皆さんと共に

6期24年

髙橋重美町長
任期満了により退任



在任期間　平成14年10月5日～令和8年10月4日

髙橋重美町長は、平成１４年１０月５日から令和８年１０月４日まで、６期２４年にわたり町政を担い、任期満了により退任しました。在任中は「自治協働のまちづくり」を一貫した政治信条に掲げ、町民一人ひとりの思いを大切にしながら、子育て･教育、健康･福祉、産業、防災、生活基盤など、幅広い分野で町政運営に当たりました。

６期２４年の主な歩み

第１期	平成１４年～１８年	**「協働」と「交流」のまちづくり** 「協働」と「交流」をまちづくりの柱に掲げ、アスパラガスの産地化、都市との物産交流、雇用創出、木質バイオマス利活用などに着手しました。
第２期	平成１８年～２２年	**自立の道と地域の基盤づくり** 市町村合併に依存しない「自立の道」を選択。町民との対話や集落実態調査を進め、住民主体の自治と地域産業の基盤を整えました。
第３期	平成２２年～２６年	**町民提案型の地域づくり** 自治交付金制度を創設し、町民提案型の地域づくりを推進。子育て、若者定住、６次産業化、防災、再生可能エネルギーの利活用に取り組みました。
第４期	平成２６年～３０年	**「子育て王国・子育て大国」** 「子育て王国・子育て大国」を掲げ、保育料無償化、医療費支援、若者定住環境モデルタウンの整備などを推進しました。
第５期	平成３０年～令和　４年	**困難を乗り越え、次のまちづくりへ** 豪雨災害や新型コロナウイルス感染症に対応しながら、第５次総合計画、子育ち憲章、デマンド交通、防災行政無線デジタル化、道の駅構想などを進めました。
第６期	令和　４年～８年	**未来につながるまちづくり** 道の駅もがみの開業、国民スポーツ大会、町制施行70周年を迎え、豪雨災害からの復旧・復興、地域交通、行財政改革などに取り組みました。

町政の原点「和顔施」

髙橋町長が初登庁の日に携えていたのは、「和顔施」と書かれた直筆色紙でした。穏やかな表情と笑顔で人に接するというこの言葉を町政の原点とし、前町政から受け継いだ「健康と福祉のまちづくり」を大切な財産として、「生涯現役・笑子光齢社会」の実現を目指しました。

子どもの笑顔は家族の笑顔。家族の笑顔は地域の元気と笑顔へ。



在職中はこの言葉を大切にし、色紙を町長室へ掲示

町民の皆さんへ

町長として6期24年、町民の皆さんの温かいご支援をいただき、任期を終えることができました。心から感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

私が町長就任以来、一貫して大切にしてきた政治信条は、「自治協働のまちづくり」です。町民一人ひとりの思いを大切にし、町民、地域、企業、団体、行政が力を合わせる町づくりを進めてまいりました。

初登庁の際、私は「和顔施」と書かれた直筆した色紙を携えて登庁しました。穏やかな表情と笑顔で人に接するというこの言葉を心に、全国から評価された「健康と福祉のまちづくり」を受け継ぎ、「生涯現役・笑子光齢社会」の実現を目指してまいりました。

長きにわたるご支援に、心から感謝

子育ち憲章に掲げたように、子どもの笑顔は家族の笑顔、家族の笑顔は地域の元気と笑顔につながります。子どもから高齢者まで、一人ひとりが役割を持ち、地域全体に笑顔があふれる町であってほしいと願っています。

地域活動は、人と人との絆を育む源泉です。豪雨災害や新型コロナウイルス感染症など、さまざまな困難に直面しましたが、そのたびに町民の皆さん、議会、地域、関係機関から力強いご支援をいただき、復旧・復興と町民生活の安定に取り組むことができました。

また、最上町が、山形県警察の犯罪統計を基に人口当たりの刑法犯認知件数を比較した民間ランキングで、県内で最も犯罪率の低い自治体とされたことは、町の誇りです。日頃の見守りや声かけ、防犯活動、人と人との温かなつながりの賜物であり、深く感謝申し上げます。

就任時に掲げた３つの政策

就任時に掲げた3つの政策のうち、「国道から最上駅前への道路整備」は平成25年度に、「最上小国川流水型ダムの建設」は令和2年度に完成しました。

最後の「国道47号県境部の道路整備」についても、石巻新庄道路「みちのくウエストライン」の早期整備に向け、議会や沿線自治体と連携して要望活動を重ねてまいりました。

これからについて

令和7年度には、中山平から瀬見までの区間について、国から具体化に向けた検討を進める方向が示されました。長年にわたり、ご尽力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。



最上小国川ダム完成。
長年にわたり取組んだ治水対策が一つの節目を迎えた。

退任して終わりではありません。これまで公務の中では、町民の皆さん一人ひとりと向き合う時間を十分に取れないこともありました。これからは「まちづくり応援団長」として最上町の未来を応援してまいります。

６期24年、町民の皆さんに支えていただきました。心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



６期２４年、町民の皆さんに支えていただきました。心から感謝申し上げます。

これからは「まちづくり応援団長」として、最上町を応援してまいります。

髙橋重美

氏　名	髙橋　重美（たかはし　しげみ）	学　歴	山形県立新庄農業高等学校卒業
生年月	１９４８年（昭和２３年）８月	町長在任	平成１４年１０月５日～令和８年１０月４日
主な役職	山形県町村会会長 、全国山村振興連盟理事、最上地方町村会理事、山形県砂防協会会長、全国過疎地域自立促進連盟山形県支部長、全国山村振興連盟山形県支部長などを歴任		